

社会・経済システム学会 第41回大会

大会テーマ:「『with コロナ』期における社会・経済システム」

開催日: 2022年10月29日(土)・30日(日) 場所: 関西大学 千里山キャンパス

【大会テーマ趣旨説明】

新型コロナウイルスの登場は、21世紀の社会・経済システムが直面する問題を、もっとも鮮明なかたちで顕在化させた。本学会でも、「COVID19で変わる社会」(39回)、「新型コロナ後の社会・経済システム」(40回)と、この問題にかかわるテーマをかかげてきた。

問題発生から2年余りを経過した現在、新型コロナウイルスへの対応は依然として社会・経済システムに重大な脅威を与えつづけているが、それと同時に今や、未来形として語られてきた「新しい生活様式」が、現在進行形の課題としてたちあられる新しいステージにさしかかったといえる。

新型コロナウイルスが顕在化させた問題は、理論と実践のあいだにみられる分化、専門知と日常知のあいだの分化、一律的な政策的対応と困窮者の個別状況とのあいだの分化な

ど、社会・経済システムをめぐる分化の根幹に関わっている。これらの分化に対処するためのシステム知こそが、現在もっとも求められるのであり、そのための豊かな対話・討論の場として今年度の大会が位置づけられるべきであろう。

本学会ではこのような状況をふまえ、『with コロナ』期における社会・経済システム』をテーマにかかげ、本学会ならではの理論面・実践面からの幅広い活発な討論に資する報告をひろく募るものである。

なお、直接的に「with コロナ」について論じたものでなくとも、現在の社会・経済システムが直面する課題にとりくむテーマも歓迎するので、できるだけ多くの積極的な報告をお願いしたい。